

改訂版

「箱根駅伝応援と大磯丘陵ハイキング」 実施計画書

赤字部分

西田 進

大磯というと皆さんはどのようなことを想像されますか。昭和の名宰相吉田茂の旧居、大磯ロングビーチ、湘南海岸などが連想されます。今回は国道1号線で箱根駅伝の往路の応援をしたのち、大磯丘陵の歴史・自然観察のハイキングを行います。奮ってご参加ください。ご家族連れ大歓迎！

(訪問地の説明)

東海道線大磯駅	9:30頃出発 今回のハイキングのスタート。
鳴立庵(しぎたつあん)	『心なき身にもあはれは知られけり 鳴立つ沢の秋の夕暮』は、平安末期の歌人西行法師が大磯あたりの海岸を吟遊して詠んだといわれている。江戸時代初期に小田原の崇雪(そうせつ)が、西行のこの歌にちなみ、この場所に鳴立沢の標石を建てた。
新島襄 終焉の地	同志社大学創設者新島襄終焉の地に、徳富蘇峰の筆になる碑が建てられている。新島襄は、早稲田大学の大隈重信、慶應義塾大学の福沢諭吉とともに明治の三大教育家。
照ヶ崎(アオバト飛来地)	5月～9月にはここにアオバトが飛来する(県の天然記念物)。残念ながら、今の季節には見えないけれども、日本野鳥の会の門司和夫さんが解説をして下さる。
延台寺(えんだいじ)	日本三大仇討ち物語の一つ『曾我物語』のヒーロー、曾我兄弟の兄・十郎祐成と結ばれた、舞の名手、虎女(虎御前)が開いた寺である。ゆかりの『虎御石』が見られる。
箱根駅伝の往路の応援	国道1号線の大磯町郵便局付近で応援する。先頭の通過時刻は11:20頃
旧東海道松並木	旧東海道を歩く。史跡『化粧坂の一里塚』付近に残る松並木に往時が偲ばれる。
高来神社(高麗神社)	朝鮮半島の高麗王朝に因む高麗寺があったが、明治の神仏分離で高来(たかく)神社となった。
大磯高麗山	大磯丘陵の東端に位置する高麗山(標高165m)の南面には、シイやタブを主とした常緑広葉樹で構成される沿海性の自然林がみられる。県の天然記念物に指定。
湘南平(高麗山公園)	標高181mに過ぎないが、富士山、大山、相模湾を一望できる。日本山岳会創設者の小島烏水と共に初めて槍ヶ岳に登頂した岡野金次郎の碑がある。
楊谷寺横穴	7世紀前半以降の墓の遺跡とされ、21基が確認されており、県の重要文化財に指定。
東海道大磯駅	15:40頃帰着(都合のいい方は、その後『打上げ』に参加下さい)

(集合時間・場所、申込先)

集合日時: **2018年1月2日(火) 9:25**

集合場所: **JR東海道線大磯駅** (構内または構外でトイレを済ませて、改札口にご集合ください)

持参品: 弁当、水筒、雨具(万一のため)、ハイキング靴(駅伝応援は寒いことがあります。防寒にご注意)

参加費: 100円(資料代)

天候が悪い場合の連絡: 小雨が予想される場合は中止します。

個人メール、やま学研ML等により、前々日(12月31日)までに連絡します。

参加申込締切: 一応12月30日(土)とします。

申込先・連絡先: 西田 進 joy@nishida-s.com 045-353-7800 090-9013-1499

(交通の便)

下記は参考です。 <http://ekitan.com/> 等でご確認ください。

⑩ホーム東海道線熱海行 ⑩ホーム東海道線熱海行 ⑥ホーム東海道線熱海行

東京 8:10発 → 8:18着 品川 8:20発 → 8:37着 横浜 8:38発 → 9:21着 大磯

帰りの大磯発東京行の東海道線: 15:31～18:33の間に直通が14本のほかに、平塚乗継が5本ある。